



川崎重工業株式会社とのサステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について

農林中央金庫（代表理事理事長：奥和登、以下「当金庫」）と、川崎重工業株式会社（代表取締役社長執行役員：橋本康彦、以下「川崎重工業」）は、サステナビリティ・リンク・ローン（以下「SLL」）¹による金銭消費貸借契約（以下「本件ローン」）を締結いたしました。

川崎重工業では、社会課題解決に向けた取組みの一つである「水素サプライチェーン構築」により、日本のカーボンニュートラル達成に貢献していくことを目的とするサステナビリティ・リンク・ローン・フレームワーク（以下「フレームワーク」）を策定しており、本件ローンはこのフレームワークを適用し対応するものです。

当金庫は、自らの存在意義（パーパス）を「持てるすべてを「いのち」に向けて。ステークホルダーのみならずとともに、農林水産業をはぐくみ、豊かな食とくらしの未来をつくり、持続可能な地球環境に貢献していきます」と定めています。また中長期目標として「2030年までにサステナブル・ファイナンスの新規実行額10兆円」を掲げるなど、サステナブル経営の実践を目指しています。当金庫は、川崎重工業のサステナビリティ経営にかかる理念に共感し、本件ローンを通じて川崎重工業の取組みを後押ししていくとともに、農林水産業との関連が大きい気候変動問題の解決に貢献していきます。

本件ローンでは、フレームワークにおいて川崎重工業の持続的な成長および日本のカーボンニュートラル達成に欠かせないとされる「水素サプライチェーン構築」について、以下の KPI²・SPTs を設定いたしました。

KPI	水素サプライチェーン構築
SPTs	2026年度までに商用化実証大型液化水素運搬船1隻の建造完了

なお、本件ローンに適用されるフレームワークについては、Loan Market Association 等が策定した「サステナビリティ・リンク・ローン原則（2022年3月版）」および環境省が策定した「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン（2022年版）」との適合性に対する第三者意見書を外部機関である株式会社日本格付研究所より取得しております。

【本件ローンが貢献する主な SDGs】



¹ SLL は、借り手の経営戦略に基づくサステナビリティ目標（KPI）と連携したサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPTs」）を設定し、貸付条件と SPTs の達成状況を連動させることで、借り手に目標達成に向けた動機付けを促し、環境・社会の面から持続可能な事業活動および成長の支援をしていくことを目指すものです。

² KPI は、借り手の中核的なサステナビリティ戦略とビジネス戦略にとって重要であり、その業界セクターにおける環境・社会・ガバナンス（ESG）の関連する課題として設定される目標・指標のこと。

【参考】

川崎重工業株式会社のホームページ

<https://www.khi.co.jp/>

株式会社日本格付研究所による第三者意見

https://www.jcr.co.jp/download/ce5e44e739e62979e7622eedd36d632e69b2264d6e622f9b6d/22d0940_1.pdf

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 企画管理部 広報財務 IR 班（宮澤・水元） TEL 03-6362-7172